



内田直之が、「考えたこと」「感じたこと」「学んだこと」「行動したこと」を皆様にお伝えする紙上ブログです

ボランティア・学生インターンを募集しています!メールやお電話で、お気軽にお問い合わせ下さい。



X (Twitter) Facebook YouTube



ウェルビーイングなまちづくり

ウェルビーイング (Well-being)とは?

ウェルビーイングとは、個人やコミュニティが、身体的、精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的、経済的にも良好で満たされている状態にあることを指します。1946年に署名された世界保健機関(WHO)憲章では、「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいう。」と定義されました。

ウェルビーイングの追求は、健康だけでなく、生活全般の質を向上させることを目指す総合的なアプローチを意味します。

ウェルビーイングが注目されている背景としては、技術革新やグローバル化に伴う社会経済の変化、個人や社会全体の生活の質や幸福度に対する関心の高まり、また、新型コロナウイルスの拡大による健康や働き方に対する価値観の変化やSDGsとの関わりなどが挙げられると思います。

世界幸福度ランキングからみる日本

ウェルビーイングを測る指標として、国際連合が発行する世界幸福度ランキングが有名です。1人当たりのGDP、社会的支援、健康寿命、人生の自由度、寛容さ、政治の腐敗度を10点満点で評価しています。2023年の報告書では、1位は6年連続のフィンランド、2位はデンマーク、3位はアイスランドと続き、日本は47位という結果でした。

私は世界50ヶ国を旅してきました。確かにフィンランドは美しく安全で、見るか

らに皆さん幸福そうでした。一方、例えば医療格差が激しいアメリカや暴動やストライキが多発するフランスより日本の幸福度が低い結果には違和感もあります。幸福のとらえ方は主観的で、社会や文化によっても多様なため、数値化や順位付けは参考程度と考えるべきと思いますが、あまりに低いのも残念です。

ウェルビーイングの取組みは多岐にわたります。例えば、企業経営においては、利益の最大化だけでなく、従業員や取引先などにウェルビーイングを配慮することが重要となります。また、医療分野では、疾病の予防、早期発見、適切な治療がウェルビーイングに直結し、環境分野では、健康的な居住環境や自然環境を提供することでウェルビーイングを向上させます。これらの分野は相互に関連



Think

し、人々の幸福と健康を促進する為に総合的なアプローチが求められています。

ウェルビーイングなまちづくりとは

2022年6月、岸田内閣は主要政策である「新しい資本主義」の重要な柱のひとつとして、「デジタル田園都市国家構想」を発表しました。この構想は、デジタル技術の活用により「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すものです。そこでは「国民がウェルビーイングを実感できる社会の実現、成長戦略による成長と分配の好循環の拡大などを通じて、格差是正を図りつつ、一人一人の国民が結果的にウェルビーイングを実感できる社会の実現を目指す。」と明記されています。

まちづくりにおけるウェルビーイングを推進するにあたり具体的には、

- ①住民の身体的・精神的な健康では、安全な生活環境や健康増進施設の提供
- ②社会的繋がりの促進では、コミュニティ活動の場の整備
- ③教育や成長の場としては、良質な学校や教育プログラムの提供
- ④環境分野では、清潔な生活環境や公園・緑道の整備
- ⑤まちづくりへの参画では、民主的な意思決定の仕組み

などが必要ではないかと考えています。

まちづくりにおけるウェルビーイングとは、単なる物理的な健康だけでなく、個人の幸福感や生活の質を多面的に捉え、まちづくりに取り入れることが求められていると思います。地域社会全体が協力してこれらの要素を向上させることで、住民の満足度と幸福感を高めることができるのではないのでしょうか。

①「千代田のまちづくり」に全力で取り組みます。
 ②皆様からの「ご相談」に迅速にご対応します。
 ③活動レポート「FORWARD」を定期的に発行します。
 ④「タウンミーティング」を定期的に開催します。
 ⑤国、東京都、千代田区をしっかりと「繋いで」参ります。

内田直之 5つのお約束



Study

チェルシー地区にある「ハイライン」を視察!

ハイラインとは、マンハッタンのチェルシー地区にある、廃線となった高架線路を再利用した都市公園です。1934年にセントラル鉄道の高架貨物鉄道として建設されましたが、1980年代には廃線となり放置されていました。1999年頃から地域住民や非営利団体が再利用の構想を始め、その後、ニューヨーク市による再生PJも始まり、2009年歩道や公園として再生されました。

このハイラインは、歴史的な価値を持つ鉄道施設を保存しつつ、新たな都市公共空間を創出しました。また、都市の景観やデザイン、観光資源の向上など、まちの魅力を高めるなど、都市計画の成功事例として多くを学ばせて頂きました。



Action

Chiyoda Kids Games2023を開催!

小学生を対象とした「ちよだキッズゲームズ2023」を外濠公園総合グラウンドで開催しました。普段の所属チームではない選手でチームを編成し、4対4、5対5、6対6など、子どもの年代に応じた形式によりゲームを行いました。これを「スモールサイドゲーム」と言います。普段の試合より、プレー回数やドリブル回数は2倍、シュート数は3倍となるそうです。私達、千代田区サッカー協会は、これからも子どもやプレーヤーを最優先としたサッカー環境を作って参ります。

<https://www.chiyoda-fa.jp/>



世界の街歩き

 **スコピエ**(北マケドニア共和国)
人口 49.7万人
面積 1854km²

北マケドニア共和国は1991年に旧ユーゴスラビア連邦より独立した共和国です。バルカン半島南部に位置し、南はギリシャ、東はブルガリア、西はアルバニア、北はセルビア、コンゴと四方を他国に囲まれた内陸国です。マケドニアと言えば、ギリシャ、

エジプトから東インドまでを制服した英雄アレクサンダー大王を思い出す方も多いためです。

その首都であり最大の都市がスコピエです。中心部にはヴァルダル川が流れ、北岸の旧市街は、オスマン帝国の影響で木骨の煉瓦造 2階建のオスマン建築が、また南岸の新市街には、中層の煉瓦造やRC造のヨーロッパ建築がそれぞれ建ち並んでいます。

1963年に発生したスコピエ地震で市内の80%が倒壊し、震災後の都市計画コ

ンペにおいて丹下健三氏のプランが入賞しましたが、スコピエ駅以外は殆ど実現しませんでした。そして、スコピエ2014と言う都市計画により、アレクサンダー大王像を始め、異様なモニュメントが街中に溢れています。パリの凱旋門、アテネのパルテノン神殿、ワシントンのホワイトハウスなどの模造建築物も数多くあり、そこをロンドンの2階建バスが走るまち並みは如何なものか。一方で、旭日旗に似た国旗には親近感がわきます。「未知の国」北マケドニアに行ってみませんか。

Sense



一龍齋貞鏡
講談師
×
内田直之

まちづくりに関わる著名な方々と、内田直之との対談を連載でご紹介します。第5回目のゲストは、この秋に真打に昇進された一龍齋貞鏡先生にご登場いただきます。



張扇を用いた独特の調子は本当に心地よいですね。

美しい物語を、美しい日本語を用いて読んでいきたいです！

貞鏡先生、真打昇進、おめでとうございませう！

内田直之(以下、内田)：公私ともに大変お世話になっております。まずは、真打へのご昇進、本当におめでとございませう。師匠である故一龍齋貞山先生にも大変お世話になりました。貞鏡先生が前座の頃から応援させて頂きましたが、最近では「笑点」や「美の壺」「東京人」などメディアにも多く出演され大変嬉しく思っています。まず初めに、講談と落語の違いを教えてくださいませうか。

一龍齋貞鏡先生(以下、貞鏡先生)：端的に言いますと、落語は読んで字のごとく、落ちがある落とし話を語る芸能であり、登場人物の会話だけで成り立っています。一方、講談は、第三者目線の説明文が入って会話も入り、歴史にまつわるお話を、起承転結に沿ってお話をするという違いがあります。

内田：張扇で釈台を叩いて調子を取りながら歴史にまつわる物語を読み聞かせるのが講談で、創作の物語にて笑いを取るために話をするのが落語ですね。どちらも大切な日本の伝統芸能だと思えますが、貞鏡先生は、なぜ、講談師になろうと思ったのですか。

貞鏡先生：父も祖父も講談師でしたが、講談は世襲制ではありませんし、まったく興味はありませんでした。二十歳の時に初めて父の高座姿を客席から見て、とても格好良く美しく、「あ、私、絶対父ちゃんの跡を継ぐ！」と直感で決めました。

美しい物語を、美しい日本語を用いて読んでいきたい

内田：講談界きつこの美人講談師と言われるのですが、東京の講談協会には約60人が在籍され、約7割が女流と聞いています。四百年の歴史と伝統を誇る講談の世界において、女性が活躍されているのはなぜでしょうか。

貞鏡先生：講談は自由で色んな可能性を秘めています。古典講談の他にも新作で、活躍した女性にスポットを当て、女性が主人公の講談を創られて高座に掛けられる女性の先生も多くいらっしゃいます。無限に広がる可能性を秘めているので、女性も活躍出来る世界ではないかと感じています。

内田：貞鏡先生の講談を聞いてみると、物語に出てくるまちの様子が目に浮かびます。江戸を題材にした演目も多数あると思いますが、神田や番町、麹町と聞いて、思い浮かぶ風景やお話はありますか。

貞鏡先生：神田の勇み肌の火消し読み物、仇討ち神田祭、番町皿屋敷など、ちやきちやきの江戸っ子が活躍したり、おどろおどろしい幽霊が主人公の講談など、沢山ございませう。ちなみに、私の母の実家は神保町ですので、幼い頃から千代田区にはよく遊びに来ていました。

内田：神保町とは更に身近に感じます。貞鏡先生は伝統的な古典は勿論、ピアノ講談や落語家とのコラボなど新たなチャレンジもされ、まさに講談界を牽引されていると思います。十一月に開催されます「真打昇進披露興行」は今から楽しみにしています。最後になりますが、真打になられました。これからの様な講談師になろうと思いませんか。

貞鏡先生：先人の講談師の方々が残して下さいました美しい講談を、しっかりと私なりに美しく読んでいける講談師になりたいと思います。嬉しい事、悲しい事、楽しい事、悔しい事、幸せな時に抱いた感情、どん底の時に抱いた感情……私の人生で経験した事をまるごと高座に活かせるような講談師になりたいです。歳や経験を重ねる毎に講談に厚みが出るので、私がお婆ちゃんになって、この世を去る間に読む講談が一番楽しみます。



講談の醍醐味として、美しい物語を、美しい日本語を用いて読むこと、心に感銘を受けました。私たちが日々受け継いできた日本の美しさや優しさ、日本人の感性を尊重しつつ、持続可能なまちづくりとはどうあるべきか、改めて考えてみたいと思いました。

一龍齋貞鏡
1986年1月生まれ、武蔵大学卒業。実父が八代目一龍齋貞山、祖父が七代目一龍齋貞山、世襲制ではない講談界に於いて初の三代続いての講談師。2008年4月前座、2012年2月に二ツ目昇進、2022年文化庁芸術祭賞新人賞を受賞、2023年10月真打昇進。趣味はお酒。

活動フォトギャラリー



パリ五輪予選
ワールドカップバレー2023
女子代表・男子代表の応援で代々木へ。高橋藍選手最高です。

まちづくりシンポジウムを開催
元東京都副知事の青山侑先生にご講演を頂きました。



神田祭
4年ぶりに開催されました。準備は大変でしたが楽しかったです。

第38回千代田区ゲートボール大会
東京都代表の千代田クラブは鹿児島国体ベスト8の強豪です。



千代田区サッカー協会 会長杯
完成した外濠公園総合グラウンドにて開催。都心に素晴らしいグラウンドが誕生しました。



Action 千代田コラム

アテネ・フランセの校舎

駿河台の明大通りからとちの木通りに入り、男坂、女坂を超えると、高い塔とピンク色のコンクリートの建物が見えてきます。最近ではインスタ映えスポットとしても有名な、アテネ・フランセの校舎です。アテネ・フランセとは、1913年(大正2年)創立の語学専門学校で、現存する日本最古のフランス語学校としても知られており、1962年(昭和37年)に新校舎として建築されたのが現在の校舎です。

設計は、巨匠ル・コルビュジエの弟子である吉阪隆正によるもので、第14回日本建築学会賞を受賞しています。個性的な造形と色彩が印象的な建築です。この不思議と落ち着いたピンク色は、アンデス山脈に夕日が落ちる色をイメージしたそうです。この様な話を聞くと、アンデス山脈の夕日を見たくりますね。ピンクの外壁に開けられた小さな開口部や文字も楽しいです。何が読み取れるか、是非、じっくり見て頂きたいです。また、いたる所にローマ神話の女神ミネルヴァがデザインされ、塔の上には知恵の象徴であるフクロウの避雷針も個性的で可愛いです。

千代田コラムでは、身近にある素敵な建物をご紹介します。これからも、千代田区にある名建築を探していきたいと思えます。



Sense

Profile

内田直之(うちだ なおゆき)

1964年、熊本市生まれ B型。
国立有明高専建築学科を卒業後、トステム株式会社(現LIXIL)に入社。事業企画室長や商品企画室長、多くの開発プロジェクト責任者に就任。2011年より千代田区議会議員を3期10年勤め、議会運営委員長や予算特別委員長、会派では幹事長、政調会長を歴任。2021年東京都議会議員選挙に立候補するも次点にて惜敗。一級建築士。

- 学歴
国立有明高専建築学科 卒業
明治大学公共政策大学院 修了
- 職歴
トステム株式会社(現LIXIL) 25年間勤務
U&D・パートナーズ一級建築士事務所 代表

- 所属団体
一般社団法人 千代田区サッカー協会 会長
千代田区ラグビーフットボール協会 副会長
千代田区軟式野球連盟 顧問
千代田区相撲連盟 顧問
千代田区ゲートボール協会 顧問
明治大学 校友会千代田区地域支部 副支部長
社会保険労務士会 千代田統括支部 顧問
公益財団法人 京葉鈴木記念財団 顧問
自民党東京都支部連合会 都政対策副委員長
一般社団法人 東京建築士会